

第九次行革と市民の足と水

市民と歩む会 野村昌平



職員数は同三年間で九百三人から八百五十一人へと五十二人の削減を目指している。

質問→公共交通空白地域対策は。

答弁→旧市内周辺部の交通空白地域への対応はデマンド乗り合いタクシーを検討。タクシー協会の協力を得て、高齢者ネットワークの充実している佐良山地域で試行する予定である。

質問→水道未整備地区解消対策は。

答弁→小規模飲料水供給施設設置事業補助金により、二十二年度は一地区が完成。二十三年度は二カ所の整備を予定し他にも四カ所の要望を受け調整中である。

事業仕分け判定「廃止」の扱いは

津山新星会議 倉持照憲



質問→事業仕分けの判定結果が「廃止」になった事業の扱いは。新築住宅とリフォーム助成の件数、経済効果額は。新設する美作地区消防指令センターのあり方、これまでとの違いは。

答弁→事業仕分けの今後の方針は、三月末までに公表。事業の成り立ち、調整面から廃止の対応ができないこともあり得る。新築、リフォーム助成は三百四十七件、効果額は六十三億円余りと推測される。津山圏域、真庭市、美作市の三消防本部が共同運用する指令センターは、二〇一二年四月から運用を開始。これまでより処理能力が向上して迅速な指令が可能になり、広域運用により円滑に医療機関に搬送できる。携帯電話通報者の位置特定が可能になり、災害現場と指令センターの情報共有も可能になる。

津山城天守閣の復元への見解を

政津クラブ 森西順次



質問→財政健全化の課題の中で、土地開発公社が抱える債務の整理、経営の見直しは。津山城天守閣の復元についての見解は。

答弁→第三セクター等改革推進債を活用

三年間で観光客百万人に

日本共産党津山市議団 久永良一



質問→観光で地域経済を再生させるため、観光客を百万人以上にしなければ効果が生まれない。そのためには、観光客に満足してもらえる魅力づく

し、債務の抜本的な整理を図りたい。償還年限は十年が基本だが、市民生活に影響を及ぼさないよう長期償還とする。発行は二十四年度を目途とし、前提条件として銀行団を初め、関係機関との事前合意や財政計画との整合性の確保が必要。二十三年度は事業再生・整理スキームとして枠組みを固める方針。構築に当たっては、財政状況を見据えた長期の財政見直しを示し、十分論議を重ねたい。天守は、厳しい財政状況の中、今すぐには大変難しいが諦めてはいない。現在の整備の進捗状況、財政状況の好転、市民との夢の共有など諸条件を勘案して判断したい。

答弁→大曲から荒神曲区間のカラー舗装りと宣伝が必要。「津山城、城下町出雲街道を一体化した観光拠点地区」で、国の伝統的建造物群保存地区の指定、町家の修景、裏配線方式による無電柱化、カラー舗装、町並み保存地区を材木町、伏見町に延長、ご当地グルメの食事処、工芸品などの作業場整備、東大番所の復元、建物・土地の寄付の申し出を受け、観光駐車場の整備や観光振興に活かし、宣伝を強めてもらいたい。

質問→大曲から荒神曲区間のカラー舗装は平成二十三年度中に実施。その他は検討、研究する。寄付は早急に検討。情報発信に努める。